

全国学力・学習状況調査の結果概要
～洞爺湖町の子どもの学力向上を目指して～
お問い合わせ 教育委員会教育推進課 (☎74-3009)

令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。この調査は、全国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象に行われました。洞爺湖町では、小学校 3 校（33 名）、中学校 2 校（48 名）の全 5 校が参加いたしました。内容は国語、算数・数学、理科の学力調査に加え、生活や学習習慣に関する児童・生徒への質問調査、そして学習指導に関する学校への質問調査です。学力調査の結果につきましては、下の表をご覧ください。また、学力の概要をレーダーチャート（円形のグラフ）で示すとともに、児童・生徒質問調査の特徴的な内容や、当町の学力向上の対策についてもお紹介いたします。

なお、この調査は、児童・生徒の学力や学習の様子を幅広く把握することを目的としております。ただし、対象となる教科は一部に限られていること、また学習指導要領のすべてを網羅するものではないことから、調査の結果については、児童・生徒が身に付けるべき学力の一部分であることにご理解ください。

＜各教科の平均正答率・IRT スコア(令和 7 年度の中学校理科)＞

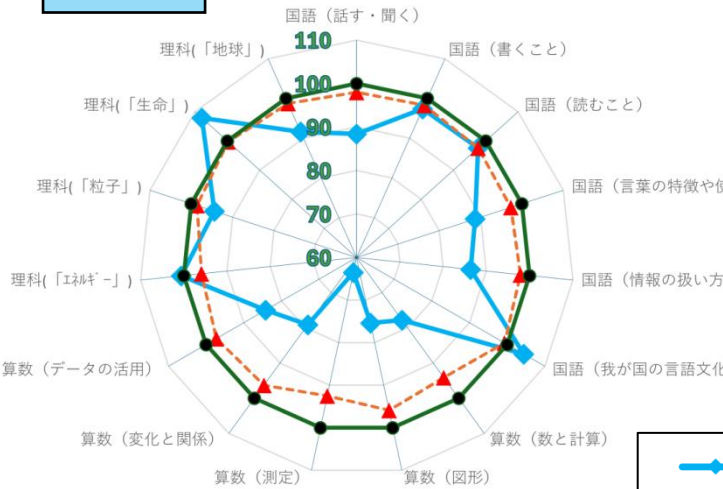
		小学校			中学校		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
令和 7 年度	洞爺湖町	63	45	56	48	33	474 ※1
	北海道	65	55	56	54	47	505 ※1
	全国	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503 ※1
令和 6 年度	洞爺湖町	67.0	61.0	57 ※2	55.0	50.0	41 ※2
	北海道	66.8	60.6	63 ※2	57.6	51.0	49 ※2
	全国	67.7	63.4	63.3 ※2	58.1	52.5	49.3 ※2

※1 は IRT スコア ※2 は令和 4 年度の平均正答率

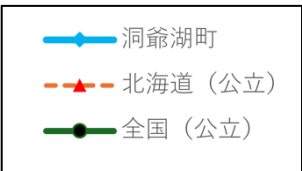
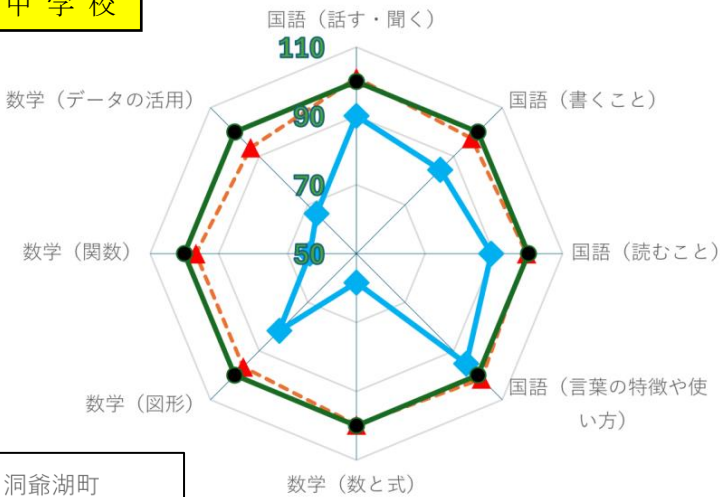
○本年度の「中学校理科」は、インターネット回線を使い、同一問題(公開)と生徒ごとに異なる問題(非公開)で実施されました。このため、生徒一人ひとりの学力を公平に確立するための IRT(項目反応理論)スコア(500 点が基準)で表されています。

1 教科全体の状況

小 学 校



中 学 校



2 児童・生徒質問調査の状況

小 学 校

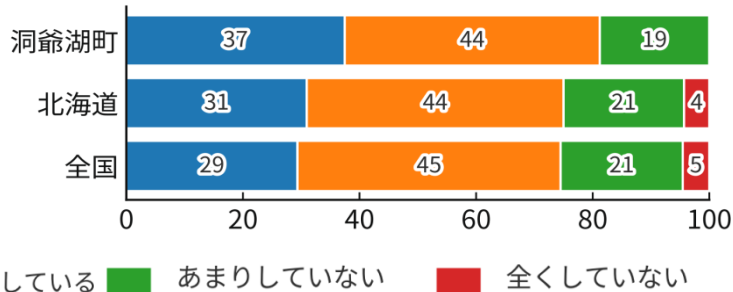
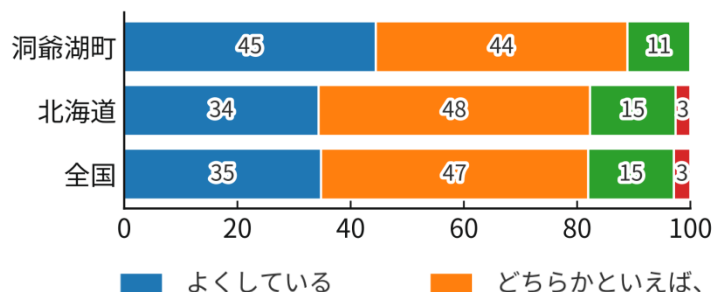
〈児童質問〉

○国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文書を書いていますか。

中 学 校

〈生徒質問〉

○国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか。



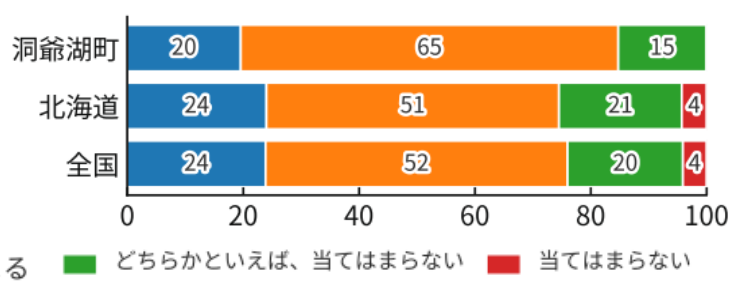
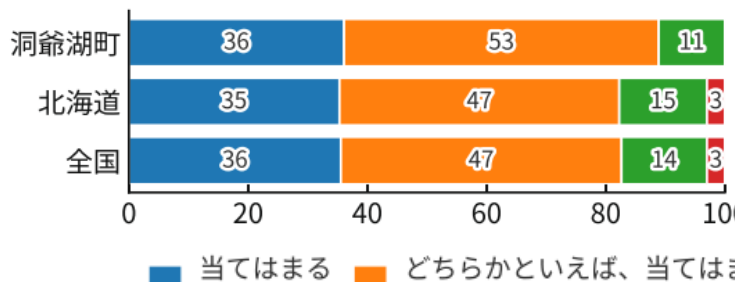
小 学 校

〈児童質問〉

○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。

中 学 校

〈生徒質問〉



○調査結果の分析

- ①児童・生徒質問調査では、小学校の「自分の考えが伝わるように工夫して書く」、中学校の「文章を書いた後に読み手の立場で見直す」といった設問において、いずれも全国平均を上回る成果が確認されました。こうした成果は、大学教員を招いた研修を通じて、町内の教員が理論と実践を共有してきた取組の積み重ねによるものと考えられます。
- ②「授業で学んだことを次の学習や生活に生かせる」と答えた割合は、小学校・中学校ともに全国を上回りました。こうした成果は、授業後の振り返りを大切にしてきたこと、学びを生活につなげる工夫、そして地域の教育資源を活かした学習が、子どもたちの学ぶ意欲につながったと考えられます。

○今後の学力向上策

- ①AI 型学習支援システム（※3）を活用して児童・生徒一人ひとりに合った課題に取り組み、わからないことを解決し、得意な力をさらに伸ばします。授業と家庭学習をつなげ、学ぶ習慣を身につけます。
- ②調べたり考えを整理したりする場面を効果的に展開し、友だちと話し合いながら課題を解決する授業を進めます。子どもたちが意見を伝え合い、考えを深める力を育てます。
- ③地域の教育資源（縄文文化、ジオパーク、防災、観光、産業、環境等）を活かした学びを通して、自然や人とのふれあいを大切にしながら、社会とつながる体験的・探究的な学びを広げます。
- ④地域未来塾（公設の無料学習塾）を通じた学校外における学習支援事業などの取組を継続します。

※3 AI 型学習支援システムとは、人工知能（AI）の仕組みを活用して、児童生徒一人ひとりの学習履歴や解答傾向を分析し、最適な学習課題や指導を提示するシステムのことです。